



平成 27 年 1 月 20 日

第 1 回物流業界研究セミナーを開催

(一社) 日本物流団体連合会は、平成 27 年 1 月 17 日 (土) に、新宿 NS ビル・イベントホールにて、初めての「物流業界研究セミナー」を開催し、全国から大学生を中心に約 520 名 (事前登録者約 650 名) が参加した。

当日は、物流連会員企業 24 社がそれぞれのブースで会社概要や経営戦略、提供する物流サービス等を説明したほか、物流業の概要に関する講演会、若手社員によるパネルディスカッション、少人数制で業界全般の質問や相談に答える座談会など、多彩なメニューが提供された。

出展ブースでは、各社がそれぞれ事業内容や物流の重要性を伝える工夫をしており、参加者は、設定されたタイムスケジュール (1 クール 30 分で 9 クール 間の休憩 10 分) の下で、興味を抱いている企業を数社訪問することによって、多様な物流業界について情報を集めていた。

特別プログラムである講演会・パネルディスカッションブースには、午前中の部と午後の部と合わせて 95 名が参加した。宿谷肇物流連事務局長が物流業の概要に関する講演を行い、若手社員によるパネルディスカッションでは、「ロジスティクス PR グループ 2014～物流いいとこみつけ隊～」のメンバー 7 名 (株) ANA Cargo、佐川急便 (株)、日本通運 (株)、日本郵船 (株)、(株) 日立物流、ヤマト運輸 (株)、(株) ロジスティクス・ネットワーク) がパネリストとなり、物流業で働く「やりがい」や「将来の目標」、その裏に潜む「辛かった体験」やそれをどう乗り越えてきたかなど、業界内で働く若手社員の生の声を参加者に伝えた。

そのほか、座談会にも約 30 名が集まり、アドバイザーの実体験やアドバイス等を受けながら、物流業に関する様々な情報を収集した。

参加した学生からは、①社会貢献度の高い業界であると感じた、②複数の企業の強みや事業の広がりや比較しながら学ぶことができ、業界全体に関する理解が深まった、③非常に幅広く、「モノに価値を生み出せる魅力的な産業」であることに感銘を受けた、という声が聞かれるなど、若い世代に物流業を等身大で見てもらったセミナーとなったと考えられる。

物流連は、今後も各会員企業の協力のもとで、本セミナーを継続的に実施する予定である。

以上
事務局：榎本

総合受付



フロア①



フロア②



講演会



パネルディスカッション

